

近年の研究紹介：松田陽一 研究室

1. 組織変革とチーム医療に関する研究

組織変革（組織の中の人の意識や行動を変える）の有効なマネジメント施策として、チーム医療を対象にして調査・研究をしています。医療機関に限らず、従来、企業や諸組織においても、組織変革の有効なマネジメント施策として「チーム」に対する関心には高いものがあります。そして、病院の中には、チーム医療の意図・計画的に活用・推進して、組織変革につなげて、良い成果を上げている病院もあります。今、これをテーマに当方ゼミの社会人院生（修了者を含）と共同で、調査・研究を続けています。2014年3月に、**岡山大MBA**の研究成果『**組織変革マネジメントへの招待**』として岡山大学出版会から公刊しました（以下参照）。



概要：岡山大学大学院社会文化科学研究科・組織経営専攻(岡山大MBA)・松田研究室では、その研究成果の一端として、教授松田陽一と院生3名との共著『組織変革マネジメントへの招待』を、2014年3月に岡山大学出版会から発刊しました。

従来、教員と院生との共著で、教科書の発刊は2回ありましたが、特定のテーマ(組織変革=人の意識や行動を変える)を対象に発刊したのは2006年岡山大MBA創設以来、初めてです。書評も出ており、とくに医療関係者からは非常に関心を持たれています。また、この研究成果を基に、2014年度、新たに科研費を獲得し、さらなる発展を計画しています。

2. 組織変革のマネジメントと抵抗に関する研究

組織変革を核として、2003年より、主に企業が行うマネジメント施策を対象に、毎年、調査・研究を行っています（例：CI活動、福利厚生、専門職、事業承継、採用、人材育成、ワークライフバランス、現場力、障害者労働等）。調査は主に、文献渉猟・アンケート・インタビュー・観察調査です（松田陽一（2011）『組織変革のマネジメント』中央経済社）。2013年は、科研費研究として、組織変革の抵抗に関する調査・研究の成果を発表しています。

3. 大学の学生に関する研究

2012年に、私家製ですが『京都大学における学生の祭の歴史に関する調査報告書～陸上運動大海・園遊会・文化祭・11月祭を中心にして～』を上梓しました（京都大学大学公文書館所蔵）。これは、20年の企業勤務を経て業界転職し、昨今の大学の在り方（とくに地方大学）をみて、「？」が付いたのが発端です。

4. その他

上記以外にもいろいろなことをやっています。関心の中心は、「企業の中の人」です。別な関心は「街づくり」（建築というデベロップです）。また、特定の企業研究では、松田陽一（2009）『経営者の事業観の伝承に関する研究～吉本興業・林正之助を対象とし、遺伝子の伝承メタファーに基づいて』岡山大学経済学部叢書があります。

受験生へのメッセージ

当研究室では、職場発の問題ではあるが、「処方箋の追求」ではなく「問題の本質的なものに迫る」、よって「科学する」に共感いただけ、そして「協同して知を創造する」ことに同意していただける方々をお待ちしています。修了生は、修了後も、学会発表（中小企業学会、中四国商経学会、日本医療マネジメント学会等）、査読・雑誌投稿、共同研究、本学学部・院をはじめ他大学の非常勤講師（岡山県立大、倉敷芸術工科大等）、県内企業・諸団体の研修講師（JA岡山等）、講演会、雑誌記事連載（岡山経済研究所報、おかやま財界等）、マスコミ出演や被取材、学会・シンポの委員長・座長等で活躍しています。また、2004年以来、台湾国立交通大学経営管理學院、中国の jinan（暨南）大学商学院（広州市）や吉林大学商学院（长春市）での講義・研究会で、研究報告等を行っています。関西学院大学経営戦略研究科・神戸大学経営学研究科・ウェールズ経営大学院大阪校との交流も行っています。また、食事会等を通じて「留学生奨学金」や「院内学級」・「東北大震災」への寄附にもご協力いただいています。